

2018年度 情報理工学部/情報理工学研究科 夏期海外IT研修プログラム

【募集要項】

立命館大学情報理工学部/情報理工学研究科では、以下の海外留学プログラムの参加者を募集します。

いずれも夏期休暇中に出発する約2～5週間のプログラムです。

奮ってご応募ください！

1. 全体プログラム

派遣先大学	派遣先国	研修言語	対象回生	滞在形態	募集人数	派遣期間 (予定)
カリフォルニア大学デービス校	アメリカ	英語	1・2回生	ホームステイ	25名	出発：8月9日 帰国：9月9日
クイーンズランド工科大学	オーストラリア		1～3回生	ホームステイ	30名	出発：8月18日 帰国：9月22日
ウースター工科大学	アメリカ		2・3回生	シェアハウス	15名	出発：8月3日 帰国：8月26日
シンビオシス国際大学	インド		3・4回生 M1・2回生	学生寮 (一部ホームステイ)	20名	出発：8月3日 帰国：9月10日

2. 応募期間および応募方法、選考結果

2018年4月16日（月） 16：00 ～ 5月7日（月） 10：00 締切

（1）申込方法

manaba+Rより応募フォームへアクセスできます。

<http://www.ritsumeit.ac.jp/ct/>

※コース一覧から「情報理工学部生のページ」>トップページから「留学・外国語学習」を選択>

画面右側の小メニューから「海外留学プログラム【学部独自プログラム】」を選択

※応募期間外の受付は行っておりません。

※システムメンテナンスのため応募入力ができないことがあります。余裕を持って申し込んでください。

（2）選考

申込時レポートによる選考を経て派遣者を決定します。結果はmanaba+Rの個人通知にて発表します。

結果発表：2018年5月11日（金） 17：00

◆お問い合わせ先◆

立命館留学サポートデスク	TEL：077-561-4881
	E-mail：itprj2@st.ritsumeit.ac.jp
	受付時間：10:00～17:00（11:30～12:30を除く）

3. 全体スケジュール（各プログラム共通）

日時	内容	会場
4月16日（火）～26日（木）	プログラム説明会に参加	クリエイションコア クリコアラ
5月7日（月） 10：00	申込み締切	
5月11日（金） 17：00	参加許可者発表（manaba+R 個人通知にて）	
5月26日（土） 13：00～16：10（予定）	保健センターガイダンス（予防接種・健康管理） 危機管理ガイダンス	コラーニングハウス I C205
5月29日（火） 18：00～19：30	事前ガイダンス（合同）	クリエイションコア C C 101
6月中旬（日程調整中） 18：00～19：30	ビザ申請面接ガイダンス カリフォルニア大学デービス校、ウースター工科大学 のみ ※日程、会場は決まり次第、合格者へご案内します。	未定
7月4日（水） 18：00～19：30	出発前最終ガイダンス	クリエイションコア C C 101

※上記日程は予定です。変更の場合には、参加学生に予めお知らせします。

※上記日程以外に、プログラム毎のスケジュールがあります。

4. 奨学金について

(1) 日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度について

日本国籍を有する者、又は日本への永住が許可されている者のうち、一定の成績基準と家計基準を満たし、研修後にレポートを提出することで、日本学生支援機構（JASSO）より奨学金が支給される場合があります（給付型）。申込時に支給希望意思を確認した学生のうち、奨学金支給者には別途案内しますので、個別の申込みをする必要はありません。

なお、家計基準が一定の基準を満たした場合には、奨学金とは別に「渡航支援金」（16万円）が支給されます。該当する学生は、申込時に希望する旨をチェックしてください。別途留学サポートデスクより連絡します。

成績基準	文部科学省成績評価係数	2.30相当（GPA3.5程度）以上（前年度成績）
語学基準	TOEIC®L&Rテスト	400点以上
	TOEFL®PBT or ITPテスト	435点（iBT®テストは41点）以上
	TOEIC Bridge®テスト	141点以上
	IELTS	5.0（Academic Module）以上
	文部科学省語学成績評価係数	2.30相当（GPA3.5程度）以上（前年度語学成績）
家計基準	JASSO海外留学奨学金第二種家計基準に順ずる。 ※独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）ホームページ参照 http://www.jasso.go.jp/shogakukin/seido/kijun/zaigaku/daigaku/2shu.html	
	渡航支援金 支給基準	【給与所得のみの世帯】年間収入金額（税込）が300万円以下
		【給与所得以外の所得を含む世帯】年間所得金額（必要経費等控除後）200万円以下



(2) 立命館大学海外留学チャレンジ奨学金について

プログラム参加者に「立命館大学海外留学チャレンジ奨学金」をプログラム費用から差引いて支給します。（給付制）
本奨学金は、プログラム参加費用の一部を支援することにより、プログラムへの参加・修了を奨励する事を目的としています。
支給の可否、金額はプログラムごとにより異なります。詳細は、各プログラムの「奨学金」欄を確認してください。

派遣期間	情報理工学部対象プログラム	派遣地域区分	支給上限額
32日以上学部生対象 短期留学プログラム	-	指定都市	16万円
	-	甲	12万円
	クイーンズランド工科大学	乙	10万円
	シンビオシス国際大学	丙	8万円
31日以内の学部生対象 短期留学プログラム	カリフォルニア大学デービス校 ウースター工科大学	-	8万円（参加費60万円以上）
			6万円（参加費40万円以上）
			4万円（参加費20万円以上）
			2万円（参加費10万円以上）
			1万円（参加費5万円以上）

5. 応募前の確認事項

本プログラムへの参加に際しては、「プログラムに参加するにあたっての遵守事項」を熟読してください。健康・安全管理や現地での行動、経費にかかる事項等に関する重要事項を記載しています。参加者には内容確認の上、「遵守事項誓約書」を提出いただきます。

詳しくは、事前ガイダンス（合同）で説明します。加えて、以下の点について確認してください。

- (1) 海外に身を置き学び生活することは、かけがえのない貴重な経験となると同時に、時には困難やストレスを伴うことが予想されます。現地滞在中の様々なトラブルについては、基本的に自己の責任において対処することになりますので、現地においては十分な自覚を持ち、責任ある行動を心掛けてください。
- (2) 健康面に関して、プログラム参加学生は定期健康診断（出発日から遡って1年以内）を受診していることが必要です。
受診していない方は必ず保健センターに相談してください。
また健康上の不安がある場合は、必ず保健センター医師に相談してください。
- (3) 危機管理について、本学の指定する海外旅行傷害保険に全員加入することを義務付けます。
プログラム参加者には、渡航中の事件、事故、病気、その他トラブル・危機対応に備えて、本学で包括契約している東京海上日動火災の海外旅行保険加入を義務付けています（個別に他の保険に加入している場合も含む）。合わせて、自身などの自然災害や昨今のテロやクーデターなどの状況を鑑みて、海外での事件・事故に速やかに対応し、皆さんの安全確保や安否確認を行う為、「**アイラック安心サポートデスク**（24時間365日の緊急支援サービス）」に全員加入していただきます。
- (4) 個人情報の取り扱いについて
書類に記入してもらう個人情報は、派遣者の選考・渡航に関する手続や本学からの連絡、および今後のプログラム内容の改善を図るため、個人が特定されない学内統計資料の作成目的のみに使用されます。
また、派遣先大学および旅行代理店・保険会社に対して、渡航手続・保険手続を進める上で必要な情報についてのみ提供されます。

6. 予防接種について

アメリカ・ウースター工科大学海外IT研修プログラムに参加する学生は、必ず予防接種を受けなければなりません。詳細は、プログラム説明ページの「その他」欄を確認してください。

それ以外のプログラムの予防接種は任意ですが、東南アジア等へ渡航するプログラムは、それぞれの国で流行している感染症を予防する目的で予防接種をしておくことを推奨します。5月26日（土）の保健センターガイダンスで説明がされますので、その内容を理解した上で保健センター（ウエストウイング1階）で予防接種の相談・申込みをしてください。

窓口が混み合いますので、できる限り**5月30日（水）～6月4日（月）（9:30～12:30）**に行くようにしてください。予防接種の相談には、母子健康手帳が必要です。また、母子健康手帳以外にも予防接種の記録があるものは一緒に持参してください。

7. パスポートについて

(1) パスポート残存有効期間

各プログラムの参加期間に伴い、それぞれ下記残存有効期間まで有効なパスポートが必要となります。

現在すでにパスポートを所有されている方も、残存有効期間が申込みプログラムの条件に合っているか再度ご確認ください。

プログラム名	必要な残存有効期間
アメリカ・カリフォルニア大学デービス校	2018年9月中旬
オーストラリア・クイーンズランド工科大学	2018年9月末日
アメリカ・ウースター工科大学	2018年8月末日
インド・シンピオシス国際大学	2019年1月末日

(2) パスポート取得に関する注意事項

- ・ビザ取得や航空券予約の関係上、現在パスポートを所有していない、あるいは更新手続きが必要な場合は、5月11日（金）までにパスポートの取得申請ができる方に限り、参加申し込みを認めます。
- ・新規でパスポートを取得される方は、戸籍謄本等の書類が必要なため、早めに取り寄せるようにしてください。取得には申請から1～2週間程度時間がかかりますので、余裕を持って手続きをしてください。
- ・パスポート残存期間の要件は、予告なく変更されることがありますので、残存有効期間が出発時6か月未満の場合には、更新されることをお勧めします。ただし、更新はビザ申請までに必ず行ってください。ビザ申請後の更新は認めません。また、乗継地により、旅券残存条件が異なる場合もあります。

8. 情報理工学部留学ツイートまとめサイト「GO ABROAD CRECORE-LA」のご案内

情報理工学部/情報理工学研究科の海外留学プログラムに参加した学生、これから参加する学生、参加を迷っている学生のためのツイート（#留学クリコア）まとめサイトを設置しています。各プログラムや派遣国の状況を理解できるので、留学への不安の解消、どのプログラムにするか迷っている時の参考になります。是非一度アクセスしてください。



(このページは空白ページです)

「アメリカ・カリフォルニア大学デービス校」 海外 I T 研修プログラム

募集人数	参加費用	派遣先国・地域	滞在形態	担当教員
25名	71万円 程度	アメリカ カリフォルニア州デービス	ホームステイ	市村 真希 准教授

期間（予定）	2018年8月9日（木）～ 9月9日（日） ※ただし、前後に事前・事後講義あり（応募者は参加必須）		
プログラム概要	本プログラムは、世界各国から数多くの留学生がおとずれるカリフォルニア大学デービス校（UCD）において、英語による科学技術講義を受講と、IT企業の集積地であるシリコンバレー見学や現地で学び・働く日本人との交流を組み合わせた低回生向けのプログラムです。 UCDは農業学校として創立され、現在では農業、農場経営、生体科学、植物学などの分野でトップレベルを誇る大学です。カリフォルニア大学群の中でも最大の広さを誇り、その広大なキャンパスにはおよそ2万6,000人以上の学部生および大学院生が通っています。 本プログラムでは、全般的な英語力（英語基本4技能、読み、書き、聞き、話す能力）の向上に加え、国際的な科学者、技術の専門家に必要な、批評的思考の習得や異文化研究、科学技術に関するプロジェクトを通してプレゼンテーション技能、科学技術に関する専門英語の習得、向上を図ります。滞在中はホームステイになりますので、英語でのコミュニケーション力を身につける絶好の機会です。 IT業界のダイナミズム、スピードをリードするシリコンバレーやサンフランシスコへのTripも予定しています。日本の会社では考えられないようなワークスタイルを体感し、将来働くことについても様々なヒントを得ることができます。 ■プログラム概要（予定）※プログラム内容は、状況により変更することがあります。 ①Listening and Pronunciation（外国語科目） ②Intercultural Research Project（グループワーク） ③Hot Topics in Science and Technology（科学技術講義） ④Site-Visits（見学＆観光）		
応募条件	①応募対象学部・回生	情報理工学部1・2回生	
	②語学スコア/成績（以下のいずれかを取得していること）		
	TOEIC®L&Rテスト	400点以上	
	TOEFL®PBT or ITPテスト	435点（iBT®テストは41点）以上	
	TOEIC Bridge®テスト	141点以上	
	IELTS	5.0（Academic Module）以上	
	文部科学省成績評価係数（前年度語学成績）	2.30以上（GPA 3.5以上）	
③事前及び事後講義への出席、帰国後の課題提出が出来ること 出席しない場合、派遣選考の取り消しまたは科目不合格（F評価）になることがあります。			

成績評価 単位取得	単位数	2単位 （2018年度秋学期開講科目）
	科目名	グローバル・キャリア養成科目「特殊講義（グローバル・キャリア養成）」
	評価	本学の基準に基づいて5段階評価
	担当教員	市村 真希 准教授
	その他	単位授与の確定は2019年3月頃になります。 本科目の単位は、受講登録制限外です。 成績評価は、現地大学の評価を参考に、本学の担当教員が行います。 期間の重なる夏期集中講義の受講はできません。
参加費用	■参加費用 条件を満たした1回生は、みらい塾NEXTを補助金としてプログラム費用から差し引いて支給予定。 ※支給金額、条件はみらい塾NEXT主催の企画内で確認してください。 【参加費用に含まれるもの】 実習費、航空運賃、現地宿泊費、食費（ホームステイ時は朝夕）、ビザ取得費、危機管理費 等 【参加費用に含まれないもの】 パスポート取得費用、日本国内の交通費、一部食費、現地交通費（ホームステイ先から公共交通機関で移動する場合）、派遣先での個人行動費、海外旅行傷害保険料、超過手荷物料金 等 ■参加費に関する留意事項 ①参加費用は参加者25名をベースに算出したプログラム費用です。 参加人数によって若干増減します。納入の案内は、参加者確定後にお知らせします。 ②外国為替レートや航空運賃の変動に伴い、参加費用が変動する場合があります。 ③参加費用が大きく変更する場合は、参加費用確定前に参加者へ連絡します。 ④参加者選考後にキャンセルした場合は、キャンセル料が発生する場合があります。 キャンセル料には、現地プログラム費用、往復航空券（国内・現地空港税、燃油サーチャージ、航空保険料等を含む）費用が含まれます。	
奨学金	・日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度：80,000円 ※成績・語学・家計基準をクリアした学生が受給できます。 ・立命館大学海外留学チャレンジ奨学金：80,000円 ※「4.奨学金について」も参照のこと。JASSO海外留学支援制度との併給可。	
事前講義	5月31日（木）6時限（18:00～19:30） @クリエイションコアCC101	
事後講義	9月19日（水） ※時間・場所は後日お知らせします。	
その他	本プログラム内容は2018年4月時点の情報になります。 日程や金額、プログラム内容などは変更になる可能性があります。	

「オーストラリア・クイーンズランド工科大学」 海外IT研修プログラム

募集人数	参加費用	派遣先国・地域	滞在形態	担当教員
30名	57万円 程度	オーストラリア クイーンズランド州ブリスベン	ホームステイ	Harry Dauer 准教授

期間（予定）	2018年8月18日（土）～ 9月22日（土） ※ただし、前後に事前・事後講義あり（応募者は参加必須）	
プログラム概要	■趣旨 本プログラムは、オーストラリアのクイーンズランド州ブリスベン市にあるクイーンズランド工科大学で集中的に学ぶ春期5週間の国際教育プログラムです。本プログラムは、「異文化理解セミナー」等の入門プログラムと同様のイニシエーション型のプログラムで、情報理工学部の1～3回生から英語の基礎学力と異文化理解力の向上を目指す学生を対象に実施します。 ■高度な英語運用能力を修得する！ 将来、国際社会で活躍したいと考えている方にとって、英語運用能力の修得は大きなメリットになることはいうまでもありません。とりわけ情報理工分野においては、高度な英語運用能力や異文化適応能力は必須です。オーストラリアでも有数の高いレベルを誇る大学の英語教育機関に身を置き、集中的に学ぶことで、英語による高度なコミュニケーション能力や異文化理解の向上、ITに関する知識の修得を目指します。 そうした体験学習を通じて、今後の海外留学を含めた更なる学習の基盤を築きます。 ■クイーンズランドとはどんなところ？ クイーンズランド工科大学はオーストラリアのクイーンズランド州南東部に位置する風光明媚なブリスベン市内にあります。Cutting Edge Post等のソフトウェア会社があり、そのひとつを視察訪問予定です。また、自然を保護し、オーストラリア特有の動物たちを見られるカランビン・サンクチュアリーへの訪問もします。日本との経済的な交流が盛んな大都市でホームステイをし、オーストラリアならではの大学生生活を実体験します。 ■オーストラリアの大学で学ぶ！ プログラム参加学生は、クイーンズランド工科大学の学生と同様に、図書館などの大学施設や学習支援制度を利用することができます。特に語学の学習に関しては、24時間カード・アクセス可能な学内のランゲージ・ラボを利用して、自学自習に励める環境が整っています。 ■英語力をしっかりと身につけたい学生にオススメ！ 本プログラムでは、5週間に渡る英語による授業とホームステイによって英語を使わざるを得ない環境を作ります。英語力を身につけ、聴く力や話す力を伸ばしたい学生にオススメです。	
応募条件	①応募対象学部・回生	情報理工学部1～3回生
	②語学スコア/成績（以下のいずれかを取得していること）	
	TOEIC®L&Rテスト	400点以上
	TOEFL®PBT or ITPテスト	435点（iBT®テストは41点）以上
	TOEIC Bridge®テスト	141点以上
	IELTS	5.0（Academic Module）以上
	文部科学省成績評価係数（前年度語学成績）	2.30以上（GPA 3.5以上）
③事前及び事後講義への出席、帰国後の課題提出が出来ること 出席しない場合、派遣選考の取り消しまたは科目不合格（F評価）になることがあります。		

成績評価 単位取得	単位数	4単位（2018年度秋学期開講科目）		
	科目名	（1・2回生）専門科目分野 グローバル・キャリア養成科目「海外IT研修プログラム（QUT）」 （3回生）専門科目分野 キャリア養成科目「海外IT研修プログラム（QUT）」		
	評価	本学の基準に基づいて5段階評価		
	担当教員	Harry Dauer 准教授		
	その他	単位授与の確定は2019年3月頃になります。 本科目の単位は、受講登録制限外です。 成績評価は、現地大学の評価を参考に、本学の担当教員が行います。 期間の重なる夏期集中講義の受講はできません。		
参加費用	■参加費用 条件を満たした1回生は、みらい塾NEXTを補助金としてプログラム費用から差し引いて支給予定。 ※支給金額、条件はみらい塾NEXT主催の企画内で確認してください。 【参加費用に含まれるもの】 実習費、航空運賃、宿泊費、食費（ホームステイ時の朝夕）、現地空港送迎（往復）、ETAS取得費、危機管理費 等 【参加費用に含まれないもの】 パスポート取得費用、日本国内の交通費、一部食費（ホームステイ先以外での食事）、現地での個人費用、海外旅行傷害保険料、超過手荷物料金 等 ■参加費に関する留意事項 ①参加費用は参加者30名をベースに算出したプログラム費用です。 参加人数によって若干増減します。納入の案内は、参加者確定後にお知らせします。 ②外国為替レートや航空運賃の変動に伴い、参加費用が変動する場合があります。 ③参加費用が大きく変更する場合は、参加費用確定前に参加者へ連絡します。 ④参加者選考後にキャンセルした場合は、キャンセル料が発生します。 キャンセル料には、現地プログラム費用、往復航空券（国内・現地空港税、燃油サーチャージ、航空保険料等を含む）費用が含まれます。			
奨学金	・日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度：70,000円/月×2ヶ月 ※日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度の支給を受ける学生は、 <u>立命館大学海外留学チャレンジ奨学金の支給を受けることはできません。</u> ・立命館大学海外留学チャレンジ奨学金：100,000円 ※「4.奨学金について」も参照のこと。JASSO海外留学支援制度との併給不可。			
事前講義	【第1回】	5月28日（月）	18：00～19：30	クリエイションコアCC101
	【第2回】	6月11日（月）		
	【第3回】	6月18日（月）		
	【第4回】	7月2日（月）		
事後講義	9月27日（木）18:00～19:30 @クリエイションコアCC101			
その他	本プログラム内容は2018年4月時点の情報になります。 日程や金額、プログラム内容などは変更になる可能性はあります。			

「アメリカ・ウースター工科大学」 海外IT研修プログラム

募集人数	参加費用	派遣先国・地域	滞在形態	担当教員
15名	79万円 程度	アメリカ マサチューセッツ州ウースター	学生寮 or アパートメント	市村 真希 准教授

期間（予定）	2018年8月3日（金）～ 8月26日（日） ※ただし、前後に事前・事後講義あり（応募者は参加必須）		
プログラム概要	本プログラムでは高度なメディア技術を英語で学習することを目的としています。基本となる英語講座では、生の英語に触れることで基礎的な英語力の向上を目指します。 インタラクティブメディア&ゲームデザイン講座では、ゲーム開発におけるシナリオ設計からデザインの方法論・開発をPBL（Project Based Learning）形式で学び、実際のゲームプロジェクトを完成させる体験を行います。 3Dモデリング講座では、ゲームの開発に必須となる3Dオブジェクトを最も広く使われているCADであるデザインソフトZ-Brushを用いて学び、上記のプロジェクトで用いるオブジェクトを完成させます。 このように、本プログラムは専門知識を実践する機会を提供し、自らの実力の到達点を理解すること、留学後の学びのモチベーションを高めることを重視しています。 また、講座受講以外にも、文化体験プログラムとしてボストン市内やニューヨークへの観光も組み込んでいます。ボストンは、英国人の入植が早く古い欧州文化を残す街で、アメリカ最古にして最高峰のハーバード大学や世界有数の研究機関マサチューセッツ工科大学があるアカデミックで活気のある街です。その中でも最も人気のあるフリーダム・トレイルを観光する予定です。 ニューヨークでは、周遊するビッグバスツアーやメトロポリタン美術館の見学、セントラルパークでのピクニックなど、世界トップクラスの都市を観光することができます。 ■プログラム概要（予定） ①英語講座（1.5時間×5日×3週間） ②インタラクティブメディア&ゲームデザイン講座（3.5時間×2日×3週間） ③3Dモデリング講座（3.5時間×2日×3週間） ④文化体験プログラム（ボストン1日＆ニューヨーク2日）		
応募条件	①応募対象学部・回生	情報理工学部2・3回生	
	②語学スコア/成績（以下のいずれかを取得していること）		
	TOEIC®L&Rテスト	400点以上	
	TOEFL®PBT or ITPテスト	435点（iBT®テストは41点）以上	
	TOEIC Bridge®テスト	141点以上	
	IELTS	5.0（Academic Module）以上	
	文部科学省成績評価係数（前年度語学成績）	2.30以上（GPA 3.5以上）	
	③事前及び事後講義への出席、帰国後の課題提出が出来ること 出席しない場合、派遣選考の取り消しまたは科目不合格（F評価）になることがあります。		

成績評価 単位取得	単位数	2単位 （2018年度秋学期開講科目）
	科目名	グローバル・キャリア養成科目「特殊講義（グローバル・キャリア養成）」
	評価	本学の基準に基づいて5段階評価
	担当教員	市村 真希 准教授
	その他	単位授与の確定は2019年3月頃になります。 本科目の単位は、受講登録制限外です。 成績評価は、現地大学の評価を参考に、本学の担当教員が行います。 期間の重なる夏期集中講義の受講、および追試験の受験はできません。
参加費用	【参加費用に含まれるもの】 実習費、航空運賃、現地宿泊費、現地空港送迎（往復）、海外旅行傷害保険料、ビザ取得費用、危機管理費 等 【参加費用に含まれないもの】 パスポート取得費用、日本国内の交通費、現地食費、現地での個人費用、留学に必要な予防接種受診・抗体検査予約・証明書発行費用*1、超過手荷物料金 等 ■参加費に関する留意事項 ①参加費用は参加者15名をベースに算出したプログラム費用です。 参加人数によって若干増減します。納入の案内は、参加者確定後にお知らせします。 ②外国為替レートや航空運賃の変動に伴い、参加費用が変動する場合があります。 ③参加費用が大きく変更する場合は、参加費用確定前に参加者へ連絡します。 ④参加者選考後にキャンセルした場合は、キャンセル料が発生します。 キャンセル料には、現地プログラム費用、往復航空券（国内・現地空港税、燃油サーチャージ、航空保険料等を含む）費用が含まれます。	
奨学金	・日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度：80,000円 ※成績・語学・家計基準をクリアした学生が受給できます。 ・立命館大学海外留学チャレンジ奨学金：80,000円 ※「4.奨学金について」も参照のこと。JASSO海外留学支援制度との併給可。	
事前講義	6月7日（木） 18:00～19:30 @クリエイションコアCC101	
事後講義	9月20日（木） ※時間・場所は後日お知らせします。	
その他	*1 アメリカ・マサチューセッツ州の州方により、事前に定められた輸入ワクチンTdapを含む予防接種（B型肝炎、麻疹、風疹など）の受診が必要です。保健センターガイダンスまでに母子手帳の今までの予防接種受診の記録が分かるものを準備し、保健センターガイダンス時には母子手帳等の原本を必ず持参してください。 また、6月初旬に保健センターで予防接種・罹患歴の確認と必要時抗体検査（血液検査）を実施します。詳細・保健センターの予約は5月29日（火）合同事前ガイダンスで行います。 * 各種ワクチンの接種スケジュールは保健センター受診時に相談して決定します。 ワクチン・検査等の費用は参加費に含まれません。保健センターHPを必ず確認してください。 http://www.ritsumeai.ac.jp/mng/gl/hoken/travelclinicprice.html 本プログラム内容は2018年4月時点の情報になります。 日程や金額、プログラム内容などは変更になる可能性があります。	

「インド・シンピオシス国際大学」 海外IT研修プログラム

募集人数	参加費用	派遣先国・地域	滞在形態	担当教員
20名	57万円 程度	インド プネ	学生寮（※）	市村 真希 准教授

※期間中に一部ホームステイあり

期間（予定）	2018年8月3日（金）～ 9月10日（月） ※ただし、前後に事前・事後講義あり（応募者は参加必須）		
プログラム概要	本プログラムは、インドのプネ市にあるシンピオシス国際大学で集中的に学ぶIT教育プログラムです。より高いレベルの英語運用能力・異文化適応能力の養成を図ることに加え、インドプログラムは、世界規模で進展するIT産業界を体感できるIT先進国において、専門的かつ実践的なITの知識・技術を学ぶものです。 3・4回生の学部学生、および情報理工学研究科博士課程前期課程に所属する学生で、基礎的なIT知識（主にオブジェクト指向技術）および英語の基礎学力（TOEIC® L&Rテスト500点以上が望ましい）を持った学生を主たる対象に実施します。 ■ 高度なIT知識・技術を修得する IT技術、特にオブジェクト指向技術は、将来SEを目指す学生にとっては重要な核技術であり、世界に通用するソフトウェア技術者になるためには必須と言えます。研修中にお世話になる（株）ソフトブリッジ・グローバルスタディーズは、東芝、凸版印刷、NEC、日立などの日本のトップIT企業のSEに対して英語による中・長期の滞在型IT技術研修を実施するなど、ITに関する教育訓練について十分な実績を持っています。講師はシンピオシス国際大学の教員です。このような環境でオブジェクト指向技術に関する知識や技術を体系的に学習することを通じて、IT核技術に関する専門知識を深めるとともに、実際に活用する技術を身につけます。 ■ IT産業の世界的な進展を体験する。 インドは、世界有数のIT教育水準を誇り、欧米向けのオフショア開発を中心にIT産業において急激な成長を遂げたIT大国です。米国企業のコールセンターの夜間対応を担うとともに、ソフトウェア開発基地として欧米のIT産業から巨額の投資を受けるなど、その役割はマスコミにも大きく取り上げられています。 今回のプログラムでは、そのIT大国でIT技術を修得するとともに、IT企業を実際に訪問することで、世界のソフトウェア開発現場の最前線を肌で感じ取ることができます。また、（株）ソフトブリッジ・グローバルスタディーズではインド人SEも日本語でIT技術を学んでおり、交流の中から、現地のIT技術者の技術レベルや生き方に触れることができます。 ■ 英語で学ぶ すべてのプログラムは英語で行われます。世界のIT技術の公用語は英語であること、日本企業も海外にオフショアでソフトウェア開発を外注する傾向が加速しており、仕様打合せなどで英語を使用する機会が急増していること、多数の外国人技術者を雇用する日本企業が増えてきていることなどを考えると、英語でIT技術を学ぶことは不可欠です。また、世界で英語を話す人の数が増え、インドがインドなのです。		
応募条件	①応募対象学部・回生	情報理工学部3・4回生 情報理工学研究科博士課程前期課程1・2回生	
	②語学スコア/成績（以下のいずれかを取得していること）		
	TOEIC®L&Rテスト	400点以上（500点以上が望ましい）	
	TOEFL®PBT or ITPテスト	435点（iBT®テストは41点）以上	
	TOEIC Bridge®テスト	141点以上	
	IELTS	5.0（Academic Module）以上	
	文部科学省成績評価係数（前年度語学成績）	2.30以上（GPA 3.5以上）	
	③事前及び事後講義への出席、帰国後の課題提出が出来ること 出席しない場合、派遣選考の取り消しまたは科目不合格（F評価）になることがあります。		
④基本的なIT知識（特にオブジェクト指向技術）を有するものが望ましい。			

成績評価 単位取得	単位数	4単位（2018年度秋学期開講科目）		
	科目名	（情報理工学部） 専門科目分野・キャリア養成科目「海外IT研修プログラム（インド）」 （情報理工学研究科） 共通科目「海外実習」		
	評価	本学の基準に基づいて5段階評価（現地評価を参考に、本学担当教員が行う）		
	担当教員	市村 真希 准教授、高田 秀志 教授、DAUER HARRY 准教授		
	その他	単位授与の確定は2019年3月頃になります。 本科目の単位は、受講登録制限外です。 成績評価は、現地大学の評価を参考に、本学の担当教員が行います。 期間の重なる夏期集中講義の受講、および追試験の受験はできません。		
参加費用	■参加費用 大学より1人あたり150,000円を補助予定（参加人数によって補助金額の増減有）。 実質負担金額は420,000円程度となります。 【参加費用に含まれるもの】 実習費、航空運賃、現地宿泊費、現地食費（休日昼を除く）、現地空港送迎（往復）、海外旅行傷害保険料、ビザ取得費用、危機管理費 等 【参加費用に含まれないもの】 パスポート取得費用、日本国内の交通費、一部食費、現地での個人費用、超過手荷物料金 等 ■参加費に関する留意事項 ①参加費用は参加者20名をベースに算出したプログラム費用です。 参加人数によって若干増減します。納入の案内は、参加者確定後にお知らせします。 ②外国為替レートや航空運賃の変動に伴い、参加費用が変動する場合があります。 ③参加費用が大きく変更する場合は、参加費用確定前に参加者へ連絡します。 ④参加者選考後にキャンセルした場合は、キャンセル料が発生します。 キャンセル料には、現地プログラム費用、往復航空券（国内・現地空港税、燃油サーチャージ、航空保険料等を含む）費用が含まれます。			
奨学金	・日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度：60,000円/月×2ヶ月 ※日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度の支給を受ける学生は、立命館大学海外留学チャレンジ奨学金の支給を受けることはできません。 ・立命館大学海外留学チャレンジ奨学金：80,000円 ※プログラム参加費用（上記大学からの補助後の金額）から差し引いて支給します。 「4.奨学金について」も参照のこと。JASSO海外留学支援制度との併給不可。			
事前講義	【第1回】	5月31日（木）	18:00 ～ 19:30	クリエイションコアCC103
	【第2回】	6月7日（木）		
	【第3回】	6月14日（木）		
	【第4回】	6月21日（木）		
	【第5回】	6月28日（木）		
事後講義	9月21日（金） ※時間・場所は後日お知らせします。			
その他	オプショナルトリップとして、エローラ・ジャンダツアーを予定しています。エローラ・アジャンダツアーは、2泊3日の世界遺産「エローラ・アジャンダ」を訪れる旅行に参加する事が出来ます。費用は25,000円（ホテル代、送迎費含む）の予定です。ツアー参加は任意となります。参加希望は事前講義の際に確認します。 アジャンダ石窟はインドで最高の仏教壁画が残されており、素晴らしい壁画が残されています。 また、エローラ石窟群は古代三大宗教「仏教・ヒンドゥー教・ジャイナ教」の石窟寺院が一堂に会する世界で唯一の場所です。 本プログラム内容は2018年4月時点の情報になります。 日程や金額、プログラム内容などは変更になる可能性があります。			

● プログラムに参加するにあたっての遵守事項

立命館大学海外IT研修プログラム/海外インターンシップ・プログラム（以下「プログラム」という。）に参加する学生は、次の点を遵守しなければならない。

1. プログラム参加手続の履行

- (1) プログラム申込金および実習費ならびにその他諸経費は、指定の期日までに納入すること。指定の期日までにプログラム申込金、実習費等の納入がない場合、プログラム参加を辞退するものとみなす場合があること。
- (2) プログラム申込金納入後は、プログラム参加の辞退はできないことを十分に理解した上で申込手続を行うこと。
- (3) 立命館大学が辞退期限として指定している期日以降にプログラム参加を辞退する場合または立命館大学によりプログラム参加を取り消された場合には、実習費およびその他諸経費の一部または全部を負担すること。
- (4) 立命館大学が指定する海外旅行保険および危機管理支援サービス（以下「海外旅行保険等」と総称する。）に、留学に係る出発から帰国までの期間加入すること。また、派遣先大学から別途で海外旅行保険等に加入することを指定された場合は、立命館大学および派遣先大学が指定するそれぞれの海外旅行保険等に加入すること。
- (5) 立命館大学が指定する往復の航空便、指定旅行代理店、指定査証代行取得業者、指定宿舎がある場合は、それらを利用することとし、指定の期日までに手続を行うこと。指定の期日までにビザ、パスポート等の取得ができない場合、プログラム参加を辞退すること。
- (6) 立命館大学が指定するガイダンスに出席し、指定の期日までに必要な書類を提出すること。
- (7) 立命館大学の定期健康診断を受診すること。何らかの事情で受診できていなかった場合は、プログラム参加までの指定の期日までに、別途健康診断を受診すること。医師による診断に基づき、プログラムへの参加が困難であると立命館大学が判断した場合、プログラム参加を辞退すること。
- (8) 派遣先大学が所在する国（地域）が指定する予防接種を、指定の期日までに受けること。
- (9) 既往症、現在疾患、服薬の状況等について、指定の期日までに立命館大学に申告すること。

2. プログラムに関する諸条件

- (1) プログラム派遣候補者として選抜されることは、派遣先大学での受入を保証するものではないこと。また、派遣先大学の事情によっては、受入が許可されない場合もあること。
- (2) 派遣先大学が所在する国（地域）の治安情勢によっては、立命館大学は学生本人の生命・身体の安全を最優先しプログラムの中止・延期または帰国措置を決定することがあること。その場合、立命館大学の指示に速やかに従うこと。
- (3) プログラム参加中、緊急に医療手当または手術の必要が生じた場合、学生本人および保証人の個別同意がなくとも、立命館大学または派遣先大学の担当者の判断によって処置されることがあること。
- (4) 医師による診断にもとづき、プログラムの継続が困難であると立命館大学が判断した場合、立命館大学の帰国措置の指示に速やかに従うこと。
- (5) プログラムが定める教育上の目的が達成できず、留学プログラム参加の継続が困難であると立命館大学が判断した場合、立命館大学の帰国措置の指示に速やかに従うこと。
- (6) 帰国措置を受けたとき、または自己都合によりプログラムを中止したとき、帰国費用等は学生本人または保証人が負担すること。
- (7) プログラム参加にあたり立命館大学から奨学金の給付を受けていた場合、当該奨学金の規程にもとづき、プログラム参加を中止する等の理由により、奨学金の全部または一部の返還を求められることがあること。
- (8) プログラム参加に伴う渡航期間が、立命館大学における講義・補講、定期試験、追試験等と重なった場合、特別な配慮は行われないこと。
- (9) ホームステイでは、1 家庭に複数名の学生が滞在する場合があること。寮・ホテルでは、1 部屋に複数名の学生が滞在することが基本となること。
- (10) プログラム参加にあたり、滞在先、航空券等の諸手続、手配等を自身で行わなければならないプログラムについては、事前に諸手続、手配等について十分確認し、必ず自身の責任において遅滞なく行うこと。

3. 個人情報取扱いに関する同意

- (1) 立命館大学に届け出た個人情報について、立命館大学が、派遣先大学、旅行会社、保険会社、危機管理支援サービスを提供する会社、海外用携帯電話レンタルサービスを提供する会社、航空会社、関係省庁および在外公館に提供し、プログラム運営や緊急時の対応のために利用することに同意すること。
- (2) 立命館大学が、プログラム運営のために、派遣先大学等から成績情報、生活情報等の個人情報の提供を受けることに同意すること。

4. プログラム参加の責任

- (1) プログラム参加中に発生したトラブルについては、基本的に学生本人の責任において対処すること。
- (2) 学生本人が被った人的・物的損害または自己が派遣先大学もしくは第三者に与えた人的・物的損害が、次の①～⑦のいずれかにあたる場合、学生本人または保証人の責任において対処し、立命館大学に損害賠償その他のいかなる責任も追及しないこと。
 - ① 天変地異、海難、火災、政府や公共団体の指令、戦争、暴動、ストライキ、盗難、隔離、テロリズム、ハイジャック、航空機事故、交通事故、犯罪、流行病、税関規則、航空機等の突然のスケジュール変更、その他の不可抗力により生じた損害
 - ② 立命館大学が管理しえない状況で起こった事件または事故により生じた損害
 - ③ 法令または公序良俗に反する学生本人の行為により生じた損害
 - ④ 学生本人の故意または過失により生じた損害
 - ⑤ プログラムの趣旨・目的から逸脱した学生本人の行為により生じた損害
 - ⑥ 学生本人の個人的問題から生じた損害
 - ⑦ 学生本人が行った滞在先、航空券等の諸手続、手配等により生じた損害

5. 規律事項

- (1) プログラムの目的と趣旨を理解し、学習および研究に専念すること。
- (2) プログラム期間中は、日本の法令および立命館大学の諸規則、派遣先大学が所在する国（地域）の法令および派遣先大学の諸規則を遵守すること。
- (3) 立命館大学および派遣先大学の教職員の指示に従うこと。
- (4) 麻薬、向精神薬等日本法または派遣先大学が所在する国（地域）の法律により違法とされる薬物、危険ドラッグ、銃等の所持、使用、購入および日本への持ち込みはしないこと。
- (5) プログラム参加中に、自動車、オートバイ、船舶、航空機等の運転、操縦および購入を行わないこと。
- (6) バンジージャンプ、スカイダイビング、スキューバダイビング等危険な行為を行わないこと。
- (7) 健康管理は自らの責任で行い、常備薬や主治医の紹介状等を現地に持参すること。
- (8) プログラム参加中に、旅行または外泊する場合は、指定の期日までに所定様式の計画書を立命館大学および派遣先大学に提出し、承認を得ること。計画の変更や中止の指示があった場合は、それに従うこと。
- (9) プログラム参加中は、立命館大学が指定する報告を遅滞なく行うこと。
- (10) 短期留学プログラム（7週間未満プログラム）では、自由時間に飛行機の利用をせず、かつ派遣先大学が所在する国（地域）以外の国（地域）へは行かないこと。
- (11) プログラム終了時にすみやかに帰国すること。立命館大学の許可なく、個人的な理由により滞在期間を延長しないこと。
- (12) 立命館大学の承認なしに、日本への一時帰国・再入国を行わないこと。
- (13) 派遣先大学の寮規程もしくは入居した寮の規則またはホームステイ先の規則に従い、生活すること。
- (14) 派遣先大学の授業の録画や写真撮影などは、授業担当者の許可を得ること。